

2. 中能登地域 広域都市圏マスタープラン

1) 地域の概況

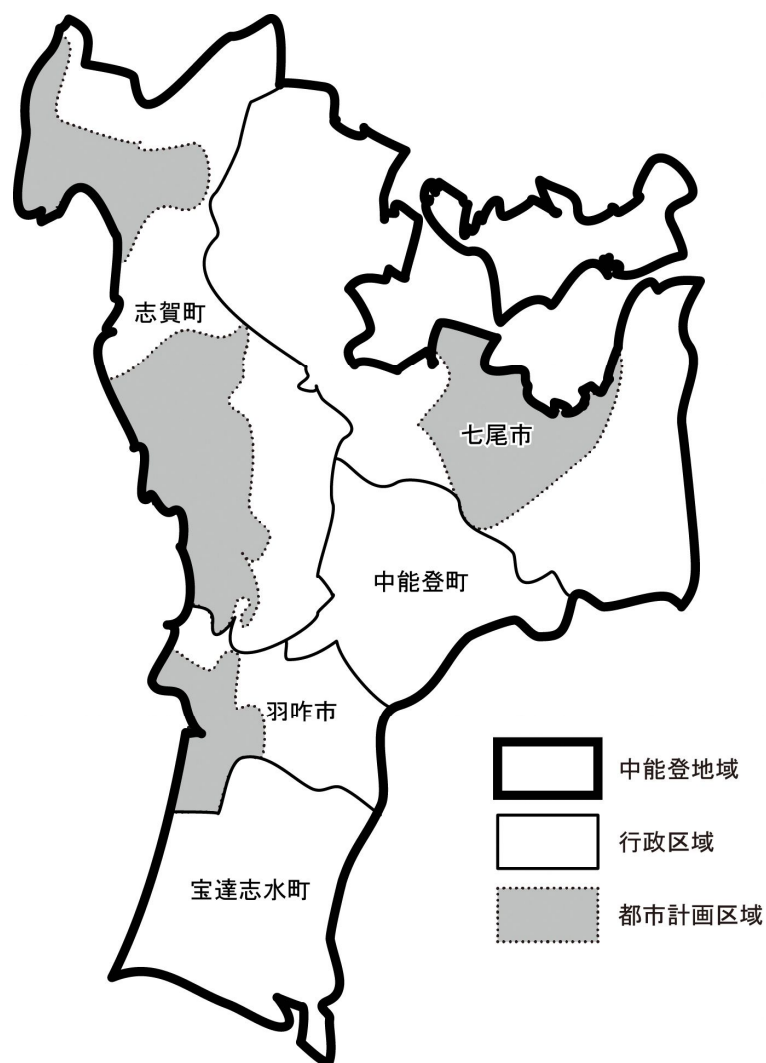
(1) 地域の構成

中能登地域は七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町の2市3町で構成され、このうち3市町で都市計画区域が指定されている。

富来都市計画区域、志賀都市計画区域については合併に伴い、今後は一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を図るため、一つの都市計画区域として取り扱う。

都市計画区域の範囲及び規模は、次の通りである。

都市計画区域名	市町名	範囲	面積
七尾都市計画区域	七尾市	行政区域の一部	4,933ha
羽咋都市計画区域	羽咋市	行政区域の一部	2,539ha
富来都市計画区域	志賀町	行政区域の一部	3,984ha
志賀都市計画区域			6,412ha



(2) 地域の概況

本地域は、能登半島のほぼ中央に位置し、七尾港、和倉温泉といった産業・観光施設や気多大社・妙成寺などの歴史・文化施設といった観光資源を有しており、また景観豊かな千里浜から能登金剛、増穂浦に連なる海岸線、波静かな七尾湾は能登半島国定公園に指定されているほか、世界農業遺産「能登の里山里海」に認定されるなど、豊かな自然景観も有している。

また、本地域では県都金沢市と能登半島を結ぶのと里山海道・能越自動車道の整備が進められており、のと里山空港や北陸新幹線との一体的な活用により、三大都市圏及び富山県、石川中央地域、奥能登地域との交流・連携の拡大と一層の地域振興が期待されている。

本地域の人口は、平成27年現在で128,221人であり、過去20年で約3万人の減少がみられる。また、65歳以上人口は35.7%を占め、県全体の27.5%と比較しても高齢化の進展は著しいものとなっている。人口の流動は、七尾市、羽咋市を中心に大きな生活圏が構成されている。なお、羽咋市と志賀町及び宝達志水町では広域圏事務組合を構成し、医療施設や消防機関などが連携しており、七尾市と中能登町は広域事務についての連携が見られることから、地域の日常的なつながりが強いと言える。

(3) 地域の主要課題

本地域は、恵まれた自然環境に加え、その立地条件から、海路の拠点となる港を中心に市街化が進んできた。しかし、若者の流出と高齢化の進行、観光入り込み客数の伸び悩み、就労機会の不足などの問題が生じている。

このため、北陸新幹線による大都市圏からの時間距離の短縮効果を背景として、地域連携のネットワーク整備、美しい里山里海景観や温泉街、歴史・伝統・文化などといった地域の強みを活かした観光拠点の創出、新しい就労環境の創出やさらなる産業集積の推進など、地域振興に向けた地域全体の活力の維持・向上が求められている。

また、地域の経済・活力を維持・発展させるためには、U・Iターンの受け皿づくりや安心して子供を産み育てられる社会環境の整備など、特に若年層を中心とする定住及び都市圏からの移住環境づくりが不可欠となっている。さらに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、公共交通の確保・維持や歩行者・自転車にやさしいみちづくり、バリアフリーの環境整備等の充実が求められている。

そのため、これらの課題の解消にあたっては、NPOや民間事業者などの多様な主体の連携・協働によるコミュニティの持続・再生などを併せて進めることにより、地域が主体となった総合的な生活環境の充実が求められている。

2) 地域づくりの基本理念

本地域には、千里浜海岸、能登金剛、和倉温泉、気多大社・妙成寺等に代表される豊かな自然環境や地域資源が存在しており、能登半島国定公園に指定されているほか、世界農業遺産「能登の里山里海」に認定されている。

これらの恵まれた地域資源やのと里山海道、能越自動車道や北陸新幹線を最大限に活かすとともに、多様な主体の連携・協働により、次の基本理念に基づき「交流と産業の振興による地域主体の個性的なまちづくり」を進め、交流人口の拡大による地域の活性化を図る。

(1) 成熟社会に対応した魅力ある移住・定住環境づくり

地域に根づいた歴史や伝統・文化を活かしながら、生活に必要な機能等の多様な都市機能をまちなかや地域の拠点へ集約し、まちなかの再生を図る。

また、既存の生活環境を改善しながらU・Iターンや都市と地方での二地域居住推進、空き家をはじめとした既存ストックや里山里海の豊かな自然を活かした田舎暮らし体験を進めるなど、魅力ある移住・定住環境を整備する。

(2) 産業拠点の充実による魅力ある就労環境づくり

七尾港周辺では、能登地域の物流・エネルギー拠点化に向け、港湾施設の整備・充実を図るとともに、大規模災害時の防災機能等の増進や、うるおいとにぎわいのある親水空間の活用を進める。

また、広域交通網の整備を進め、繊維など地場産業の高度化、能登中核工業団地をはじめとする既存工業団地への企業誘致による産業の集積に努めるとともに、地域の特色ある農林水産物のブランド化等により、産業の振興と就労の場の確保を図る。

(3) 里山里海の豊かな資源を活かした交流環境づくり

世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される良好な景観や自然環境、日本遺産「キリコ祭り」等の守り継がれた歴史・文化、和倉温泉・千里浜・能登金剛などの地域資源を継承・発信するため、交流拠点の創出及び観光拠点における回遊性の向上、歩行者や自転車にやさしいみちづくりなどにより、地域の活力向上と交流人口の拡大に努める。

(4) 交流と連携を強めるネットワークづくり

能越自動車道（田鶴浜七尾道路、七尾氷見道路）や一般国道159号七尾バイパス、中能登横断道路（(主)福浦港中島線）などの多重な道路網の整備・充実を促進するとともに、定住促進や交流人口の拡大に向けて、公共交通の充実や歩行者・自転車にやさしいみちづくりなど、総合的な交通環境の充実を図る。

また、社会基盤の耐震化や適切な維持管理による長寿命化を図るとともに、地震・津波、風水害・雪害及び土砂災害等の自然災害並びに大規模火災及び原子力災害等に対し、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の強化を図る。

(5) 地域主体の個性的なまちづくり

郷土への愛着や誇り、地域間コミュニティを育むとともに、住民やボランティア、NPO等の多様な主体が一体となり、空き家の活用やコミュニティの持続・再生などの地域の課題解決や活性化に向け、行政との連携や多面的できめ細やかな支援により、地域主体の個性的なまちづくりを進める。

3) 地域構造の基本方針

中能登地域は、人口減少や高齢化が進んでおり、本地域の活力を維持・向上するため、千里浜なぎさドライブウェイをはじめとした豊かな自然や和倉温泉、独自の文化を保存・活用した観光振興とともに、七尾港の交流機能の充実や「ダブルラダー輝きの美知(みち)」構想の推進による交通基盤の機能維持・向上による時間距離の短縮を図り、定住促進や交流人口の拡大を進める。

また、既存市街地等の拠点への居住や都市機能の誘導により集約型のまちづくりを図るとともに、地元のまちづくり活動と連携した道路の整備や地域資源を活かした都市と農山漁村との交流を促進し、魅力ある移住・定住環境を創出するとともに、コミュニティの持続・再生などにより、地域の活力を育む。

(1) 拠点となる都市

① 七尾

七尾では、七尾駅周辺から七尾港周辺を商業・業務及び産業集積拠点に位置づけ、多様な都市機能の集積により、能登地域の中核都市にふさわしい拠点の形成を図る。

② 羽咋

羽咋駅周辺一帯は、様々な都市機能の集積により、まちなか居住を進めるとともに、千里浜海岸周辺においては地域資源の再生・活用により観光の拠点化を図り、にぎわいあふれる交流拠点としての環境整備を進める。

③ 志賀

志賀(富来、志賀)では、人口の定着と交流人口の拡大に向けて、地域文化の継承・創造と合わせた生活関連施設の整備により、ふるさと交流拠点の形成を図る。

(2) 主に都市計画区域内における土地利用

① 市街地ゾーン

農業的土地利用との調和を図りながら、健康・福祉・商業などの都市機能や居住を誘導し、高齢化が進む中においても安心して暮らせる市街地を形成する。

また、都市基盤の計画的な整備・改善及び適切な維持管理を進めるとともに、空き家・空き地等の低未利用地や既存ストックの有効活用を図りながら、住居、商業、工業、緑地等の土地利用を計画的に配置・誘導し、安全・安心な都市環境を形成する。

② 農業ゾーン

市街地ゾーン周辺の田園地域では、都市と農地・山・海が一带となって形成する重要な田園景観や眺望景観の維持・保全を図る。また、既存集落では生活に必要な都市機能の確保・維持のほか、公共交通により市街地とのアクセスを確保し、集落の維持・活性化を図る。

③ 自然保全ゾーン

能登半島国定公園に指定されている沿岸部や碁石ヶ峰県立自然公園をはじめとした山地・丘陵地などの地域を代表する自然環境を保全・活用するとともに、自然災害の防止や安全確保の機能を維持する。

(3) 地域の拠点

① 産業拠点

能登中核工業団地をはじめとする工業集積地を産業拠点に位置づけ、アクセス環境の向上により、企業誘致を推進する。

② レクリエーション拠点

能登歴史公園、眉丈台地自然緑地公園、柴木総合公園、西部丘陵総合公園など、地域住民の運動や休養等のレクリエーションの場である運動公園や総合公園、広域公園等をレクリエーション拠点に位置付け、地域住民の憩いの場、交流の場として整備・充実し、適切な維持管理に努めるほか、防災拠点としての活用を図る。

和倉温泉一帯は、広域観光交流の拠点として整備・育成を図る。

(4) 連携軸

① 広域連携軸

のと里山海道、能越自動車道（田鶴浜七尾道路、七尾氷見道路）等の利用により、三大都市圏及び富山県、石川中央地域、奥能登地域等との広域的な連携を強化する。

七尾港は、能登地域の物流拠点としての機能充実を進めるとともに、客船の入港への強化や交流機能の充実を図る。

② 都市連携軸

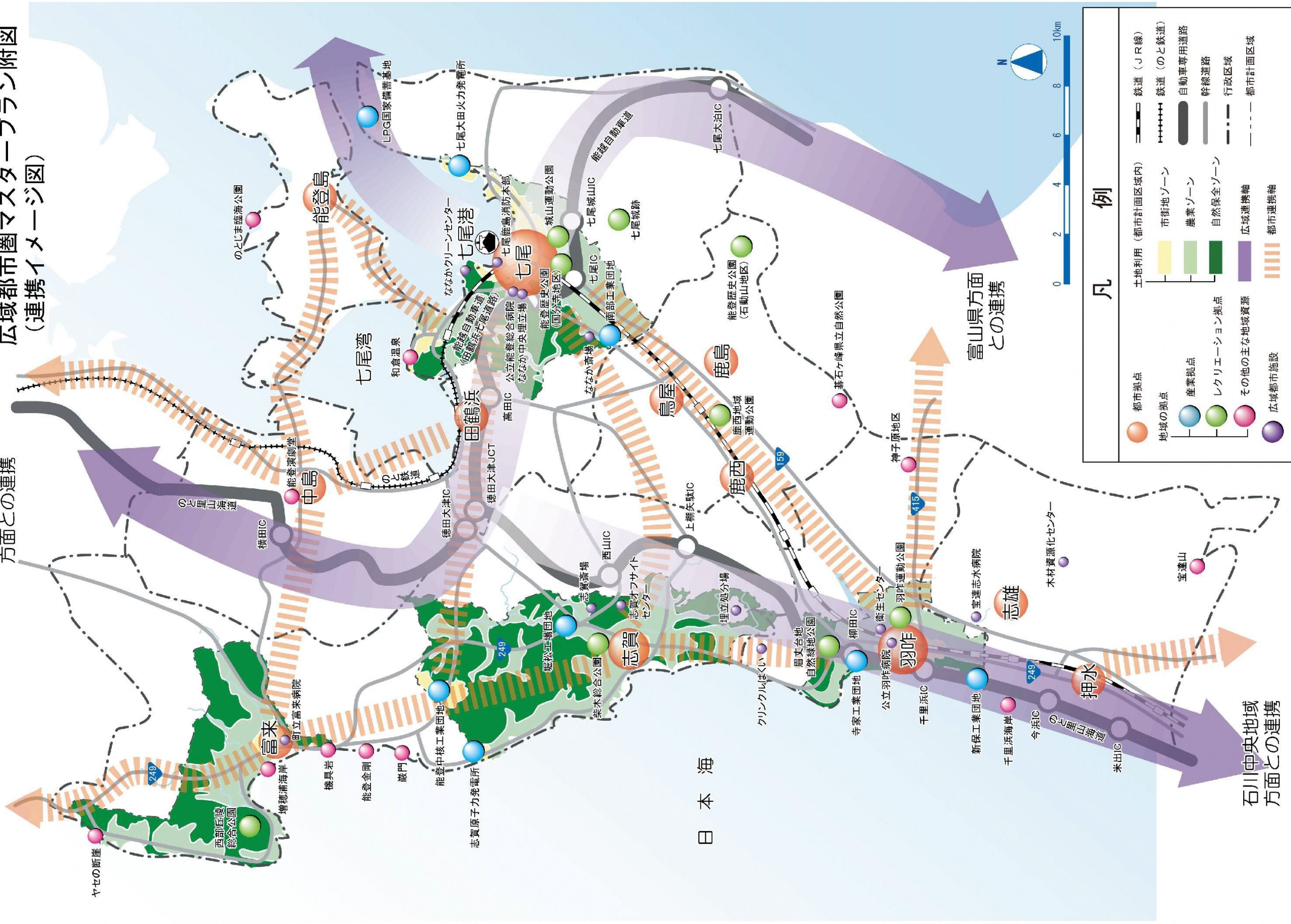
一般国道 159 号、一般国道 249 号、一般国道 415 号、七尾外環状道路や中能登横断道路等の幹線道路の利用により、本地域内の各拠点間の交流・連携を強化し、地域の一体性を高めるとともに、隣接地域との連携を強化する。

(5) 広域都市施設

ごみ処理施設やし尿処理施設、消防、病院などの広域的な都市施設は、自治体間の相互連携や適切な役割分担を図るとともに、施設の機能更新や維持管理により、地域住民の生活の安全性や快適性を確保する。

中能登地域 広域都市圏マスタープラン附图 (連携イメージ図)

奥能登地域、のと里山空港
方面との連携



凡例	
都市拠点	都市利用 (都市計画区域内)
地域の拠点	市街地ゾーン
産業拠点	農業ゾーン
レクリエーション拠点	自然保全ゾーン
その他の主な地域資源	行政区域
広域都市施設	都市計画区域
	鉄道 (JR線)
	鉄道 (のと鉄道)
	自動車専用道路
	幹線道路
	行政区域
	都市計画区域
	広域連携軸
	都市連携軸